



2021年 VITA&S-FJ&F4 日本一決定戦  
(2021 鈴鹿クラブマンレース Final Round 併催)  
特別規則書

**J A F 公認 準国内競技**

2021/12/11 (SAT)・12 (SUN)

主催  
淀レーシングクラブ (チーム淀)  
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)

**公示**

2021年 VITA&S-FJ&F4 日本一決定戦は、一般社団法人日本自動車連盟 (J A F) 公認のもと、F I A 国際モータースポーツ競技規則及びその付則に準拠した J A F 国内競技規則及びその細則、ならびに 2021 鈴鹿クラブマンレースシリーズ規則書、本大会特別規則書に従い準国内競技として開催される。なお、本競技会は日本アンチドーピング規定が適用される。

**第1条 競技会名称**  
○2021 VITA&S-FJ&F4 日本一決定戦

**第2条 オーガナイザーの名称**  
○淀レーシングクラブ (チーム淀)  
会長 淀野 泰弘  
住所 大阪市平野区加美北 6-4-28 有限会社 大東自動車内

○鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)  
会長 上村 誠児  
住所 三重県鈴鹿市稲生町 7992  
TEL 059-378-3405

**第3条 開催場所**  
鈴鹿サーキット (5.807 km)

**第4条 開催日程**  
2021年 12月11日(土)、12日(日)  
※スケジュールについては公式通知に示す。

**第5条 開催種目**  
■S-FJ ■F4 ■CS(VITA)

**第6条 組織委員会**  
組織委員長 中井 紳一郎  
組織委員 村岡 誠彦  
組織委員 三重 正宣

**第7条 審査委員会**  
審査委員長 鈴木 隆史  
審査委員 鶴園 睦郎  
審査委員 小出 正則

**第8条 競技役員**  
競技長 (VITA,S-FJ) 大野 正信  
競技長 (F4) 西井 正樹  
副競技長 中嶋 善広  
副競技長 井上 勉  
副競技長 宮崎 知宏

事務局長 三重 正宣  
コース委員長 山田 拓  
技術委員長 小林 大祐  
計時委員長 伊藤 拓央  
医師団長 島本 亮  
救急委員長 森山 寛一

**第9条 レース区分、周回数、決勝出場台数**

- S-FJ  
※トーナメント方式による勝ち抜き戦  
・各公式予選にて第1レグのグリッド決定。  
・第1レグ 6周/各50台  
・ファイナル 10周/50台
- F4  
・セミファイナル 8周/40台  
・ファイナル 10周/40台
- VITA  
・セミファイナル 8周/61台  
・ファイナル 10周/61台

**第10条 参加申込**

- ～1) 受付時間 : 2021年10月24日(日)～11月14日(日)
- ～2) 鈴鹿サーキット HP 内クラブマンレース参加受付ページから申し込みのこと。  
<https://apps.mobilityland.co.jp/msentry/entryform/>  
※F4クラスはF4協会へ申し込み事。
- ～3) 提出書類  
1. 参加申込書 (誓約文署名と親権者承諾書を含む)  
2. MS共済会加入申込書 (ピット要員登録申請書)  
3. 車両仕様書(公式車検時)
- ～4) 参加受理又は拒否の通知  
申込締切後、参加者宛に正式受理又は拒否の通知を発送する。参加を拒否された参加者に対しては、参加料が返還されるが、事務処理経費として2,200円を差し引く。また、参加を受理された後に参加をキャンセルした場合、参加料は返還されない。
- ～5) 料金規定  
1. 参加料 (VITA/S-FJ 共通) ..... 50,600円  
※F4はF4協会指定金額とする。  
2. ピット要員追加登録料 (1名につき) ..... 2,200円  
※4人目～5人目の登録をする場合  
3. 補欠ドライバー登録料 ..... 5,500円  
4. MS共済会  
ドライバー (SMSC, TRMC-S非会員の場合) ..... 7,000円  
ピット要員 (入会義務付け: 1名につき) ..... 500円  
5. 車両変更登録料 ..... 11,000円  
6. 再車検料 ..... 11,000円  
7. 再ブリーフィング料 ..... 22,000円

**第11条 ドライバーの資格**

- ～1) すべてのドライバーは有効な運転免許証 (限定国内競技運転者許可証A所持者は除く) を所持し、限定国内競技運転者許可証Aを含み、J A F の 2021 国内競技運転者許可証A以上を所持していること。
- ～2) 20才未満のドライバーは、参加申し込みの際に、親権者の承諾書と印鑑証明書 (3ヶ月以内有効) を添えて提出しなければならない。
- ～3) SMSC 会員、TRMC-S 会員または暫定会員であること。

**第12条 ドライバーの装備品**

- ～1) FHR (HANS) システムの着用を義務付ける。  
(FIA 国際競技規則付則 L 項第3章に定められたものに限られる)
- ～2) FHR (HANS) システムへの加工 (装飾を含む) は禁止する。

**第13条 S-FJクラスシード選手**

S-FJ : JAF 各地方選手権チャンピオンは、シード選手とし参加料50,600円は免除する。

**第14条 ピット要員 (メカニック)**

ピット要員の登録はピット責任者を含み3名までとする。ただし、1名につき2,200円のピット要員追加登録料を添えて申し込みをしたチームは計5名まで認める。また SMSC, TRMC

-S 会員に未入会の者は上記 2,200 円に加え、別途共済会費 500 円を必要とする。

**第15条 書類検査 (選手受付)**

- ～1) 参加申込が正式に受理された参加者には、大会前日または当日に行われる書類検査 (選手受付) 会場 (公式通知に示す) で、指名登録されたドライバー、ピット要員などのクレデンシャルおよび、ピットサインマンの身分証などが正式受理通知と引き換えに交付される。
- ～2) 書類検査 (選手受付) 時に下記の書類を提示もしくは提出しなければならない。  
1. 正式受理通知書  
2. 参加者許可証  
3. 運転免許証  
4. 競技運転者許可証  
5. SMSC, TRMC-S ランセンス (所持者のみ)  
その他、必要書類がある場合は参加受理書に示す。

**第16条 車両規定**

- S-FJ  
2021 J A F 国内競技車両規則第1編第8章スーパー F J (S-FJ) 規定に合致した車両とする。
- ～1) タイヤに関する規定  
1. 横浜ゴム株式会社が指定したタイヤを使用すること。  
2. 電気、ガス等のエネルギー源を利用したタイヤウォーマーの使用並びにタイヤの加工 (溶剤の塗布など) は禁止される。  
3. 公式予選、第1レグ、ファイナルレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは1セット (前2本、後2本) の計4本のみとする。  
4. 競技中のタイヤ交換は外的要因 (パンク等) により競技長の許可を得た場合以外は認められない。交換した場合はペナルティを科す場合がある。ただし、横浜ゴム株式会社からの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合1本のみであれば罰則を科せられることなく交換できるが、2本以上を交換する場合は、次に実施される走行セッション (第1レグまたはファイナル) は最後尾スタートとされる。なお当初のグリッドより3グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。この場合のタイヤ交換の申請に対する時間的制限は、公式予選および第1レグの各走行終了後30分以内とする。タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。
- ～2) ECUに関する規定  
本大会においては F J 協会の実施する検査に合格し、封印された ECU のみ使用を認める。必要によっては ECU はシャッフルされ、与えられた ECU を使用しなければならない。
- ～3) エンジンに関する規定  
REU の製作した治具 (カムプロフィール、ヘッドの厚さ、バルブ突き出し寸法) と内視鏡によるエンジン内部確認の検査を本大会期間中において行なう事がある。参加者は本大会主催者より検査を求められた場合は、拒否することは出来ない。
- ～4) 車両交換等の禁止  
公式車検に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される。やむを得ない事情で交換しなければならない場合車両を除き、当該技術委員長ならびに大会競技長の承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り交換が認められる。ただし、公式予選および第1レグにて達成された当該エントラントのスターティンググリッドが失われることを条件とする。(最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる) なお当初のグリッドより5グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。また、この場合のエンジンおよびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選および第1レグの各走行終了の30分以内とする。

■ F4

- 2021 J A F 国内競技車両規則第1編第9章フォーミュラ4 (F4) 規定に合致した車両とする。
- ～1) タイヤに関する規定  
1. 住友ゴム工業株式会社が指定したタイヤを使用すること。  
2. 電気、ガス等のエネルギー源を利用したタイヤウォーマーの使用並びにタイヤの加工 (溶剤の塗布など) は禁止される。  
3. 公式予選、セミファイナルレース、ファイナルレースを通じて競技会に使用するドライタイヤは1セット (前2本、後2本) の計4本のみとする。  
4. 競技中のタイヤ交換は外的要因 (パンク等) により競技長の許可を得た場合以外は認められない。交換した場合はペナルティを科す場合がある。ただし、

住友ゴム工業株式会社からの申請に基づき、競技会審査委員会が認めた場合 1 本のみであれば罰則を科せられることなく交換できるが、2 本以上交換する場合は、次に実施される走行セッション(セミファイナルまたはファイナル)は最後尾スタートとされる。なお当初のグリッドより3 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。この場合のタイヤ交換の申請に対する時間的制限は、公式予選および第1レグの各走行終了後30分以内とする。タイヤ交換を行う場合には、交換されるタイヤのマーキングが大会技術委員により除去され、新たに使用されるタイヤにマーキングが実施される。

～2) 車両交換等の禁止

公式車検に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される。やむを得ない事情で交換しなければならない場合車両を除き、当該技術委員長ならびに大会競技長の承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り交換が認められる。ただし、公式予選およびセミファイナルにて達成された当該エントラントのスターティンググリッドが失われることを条件とする。(最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる) なお当初のグリッドより5 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートとする。また、この場合のエンジンおよびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選およびセミファイナルの各走行終了の30分以内とする。

■CS(VITA)

2021 鈴鹿クラブマンレース 競技車両規則 クラブマンスポーツ(VITA)車両規定に合致した車両とする。

～1) タイヤに関する規定

- 住友ゴム工業株式会社が指定したタイヤを使用すること。
- タイヤに関する規定 銘柄：DIREZZA V01 [FOR VITA USE ONLY] サイズ：190/600 R15 とする。
- タイヤの裏組み、タイヤの加工は禁止される。
- 公式予選、セミファイナル、ファイナルレースを通じて競技会に使用するタイヤは4本とし、公式車検時にマーキングされる。タイヤは公式車検時に未使用でなければならない。タイヤが未使用か判断が困難な場合は「住友ゴム工業株式会社からの提言をうけ技術委員長最終判断とし、これに対する抗議は一切認められない。」
- 競技中のタイヤ交換は外的要因(パンク等)により競技長の許可を得た場合以外は認められない。交換した場合はペナルティを科す場合がある。次に実施される走行セッション(セミファイナルまたはファイナル)は最後尾スタートとされる。タイヤ交換者が複数の場合、当初グリッド順に従い最後尾からグリッドが形成される。
- 電気、ガス等のエネルギー源を利用したタイヤウォーマーの使用並びにタイヤの加工(溶剤の塗布など)は禁止される。
- ハンドカット等によるタイヤの加工は禁止される。

～2) 車両交換等の禁止

公式車検に合格した車両は、車両の交換、またはエンジンおよびトランスミッションのアッセンブリー交換が禁止される。やむを得ない事情で交換しなければならない場合車両を除き、当該技術委員長ならびに大会競技長の承認のもと、大会審査委員会が許可したものに限り交換が認められる。ただし、公式予選およびセミファイナルにて達成された当該エントラントのスターティンググリッドが失われることを条件とする。(最後尾グリッドからのスタートが理由の如何を問わず条件とされる) なお当初のグリッドより5 グリッド以内に最後尾グリッドがある場合は原則としてピットスタートす。また、この場合のエンジンおよびトランスミッション交換の申請に対する時間的制限は、公式予選およびセミファイナルの各走行終了の30分以内とする。

第17条 燃料規定(指定燃料)

供給場所：鈴鹿サーキット内Bパドック入口給油所

ピット内貯蔵：金属製タンクにて200ℓ未満

燃料には添加剤を混入したり、オクタン価を高めたり燃料の性質を変えるような装置を取りつけたりしてはならない。ただし、潤滑に必要なオイルの銘柄や仕様は自由とされる。

※ガソリン性状表は公式通知にて示す。

第18条 公式予選通過基準ラップタイム

- S-FJ：本大会公式予選における予選通過基準ラップタイムは、各グループの上位3台の最高ラップタイムの平均に30%を加算したものとす。
- F4：本大会公式予選における予選通過基準ラップタイムは、上位3台の

最高ラップタイムの平均に30%を加算したものとす。

- VITA：本大会公式予選における予選通過基準ラップタイムは、上位3台の最高ラップタイムの平均に20%を加算したものとす。

～3)

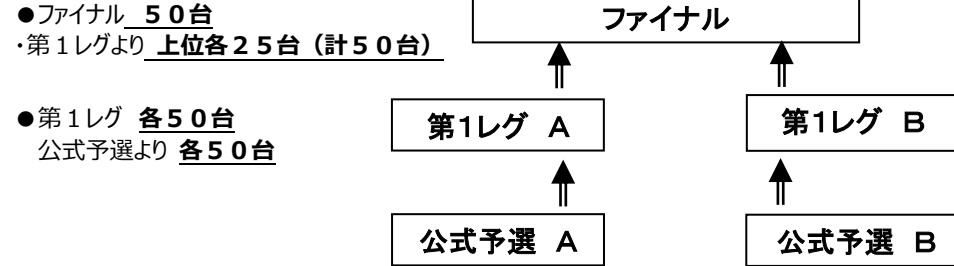
第19条 S-FJクラスグループ分け及び第1レグおよびファイナルのグリッドについて

- 予選及び第1レグのグループ分けは主催者によってA組、B組に分けられる。
- 各トーナメントおよびファイナルの選出方法は、図1の通り実施される。
- 第1レグのポールポジションは、公式予選で速いタイムを出した車両とする。
- ファイナルのグリッドは、第1レグの当該周回数を速く走行したグループのトップ車両をポールポジションとし、そのグループを左側グリッドとする。(A組、B組、上位各25台)

(例) 第1レグで、当該周回数を速く周回したグループが、Aグループとなった場合  
ファイナルのグリッド

A 1 (ポールポジション)	B 1
A 2	B 2
A 3	B 3
～	～
A 9	B 9
A 10	B 10

図1



第20条 VITA / F4のグリッド決定方法

- セミファイナルのスターティンググリッドは、公式予選において各車両が達成した最高タイム順に1×1のスタaggerフォーメーションに配列される。ポールポジション F4 クラスは最前列左側とし、VITA クラスは最前列右側とする。なお VITA クラスで参加台数が40台を超えた場合、公式予選はA組、B組に分けて行われる。A組、B組のグループ分けは主催者が行う。
- 何らかの事情で公式予選が行なえない場合は、抽選等の方法によりグリッドを決定する場合がある。
- ファイナルのスターティンググリッドは、セミファイナルの正式結果の順に1×1のスタaggerフォーメーションに配列される。ポールポジション F4 クラスは最前列左側とし、VITA クラスは最前列右側とする。。
- 何らかの事情でセミファイナルレースが行なえない場合は、抽選等の方法によりグリッドを決定する場合がある

第21条 スタート

S-FJ/F4 スタート手順

- スタートはスタンディングスタートとする。1×1のスタagger・フォーメーションで、スタート合図は灯火信号とする。
- その他、詳細手順は公式通知に示す。VITA スタート手順
- スタートはローリングスタートとする。セミファイナル、ファイナル出走台数が50台を超える場合ポールポジションから40位グリッドまでを第1グループ以降のグリッドを第2グループとして2グループに分けてローリングスタートを行う。
- その他、詳細手順は公式通知に示す。

第22条 走行中のドライバーの遵守事項

- ヘルメットおよび安全ベルト、グローブ等の確実な着用。
- HANS着用を義務付けとする。
- 車両に他の者を乗せてはならない。
- コース走行は右回りとし、いかなる場合も逆方向に走行してはならない。
- ショートコース、短絡路など規定外のコースを走行してはならない。
- トラック上以外の走行は危険状態を避ける場合を除いて行ってはならない。
- 走行中コントロールを失った車両、あるいは走路外に出た車両のドライバーがコースに復帰するときは、後続車両など他車の妨害にならないように注意し、安全を確認しなければならない。

～8) ピットおよび、コース上でのエンジン押しがけは、禁止とする。

これに違反した場合は、下記の罰則が課せられる。

- 公式予選中の場合は、押しがけした時点以降の予選タイムは計測せず、走行を禁止する。
- 第1レグ、セミファイナルそしてファイナルの場合は失格とする。

～9) ドライバーは、緊急の際、競技中に救急車、消火車、競技役員車、レッカー車などがコースを走行したり、必要な作業を行うため駐・停車したり、また競技役員がコースに立入る場合があることを承知してなければならない。

第23条 燃料補給

公式予選、第1レグ、セミファイナル、ファイナル中は、競技中の車両に対する燃料の補給は認められない。

第24条 賞典

**競技結果に基づき、以下の賞典を授与する。なお賞金額は消費税等を含む金額であり、支払いに発生する諸経費が含まれるものとする。**

■S-FJ

～1) 第1レグ (A/B 総額12万円)  
JSS賞：1位…3万円 / 2位…2万円 / 3位…1万円

～2) ファイナルレース (総額241万円)			(総額40万円)		
	正賞	JSS賞	正賞	JSS賞	
優勝	トロフィー	100万円+大カップ	6位	トロフィー	11万円
2位	トロフィー	50万円	7位		8万円
3位	トロフィー	25万円	8位		7万円
4位	トロフィー	17万円	9位		6万円
5位	トロフィー	13万円	10位		4万円

OSATO-SS賞 (総額40万円)

レディース賞(2名以上参加がある場合のみ)：

10万円…ファイナルレースにおいて最上位を獲得した女性ドライバーに授与する。

ジャンプアップ賞：10万円…ファイナルレースにおいて最も順位を上げたドライバーに授与する。

ジェントルマン賞：1位…10万円 / 2位…6万円 / 3位…4万円

ファイナルレースにおいて、40歳以上のドライバーの中で上位3名に下記の賞金を授与する。

○JSS ファイナルレーススタート賞

ファイナルレースをスタートした車両のメンテナンスガレージ(FJ協会会員及び準会員)に台あたり2万円を支援する。

■F4…公式通知に示す。

■VITA

～1) セミファイナル (総額18万円)

VITA 倶楽部賞：1位…5万円 / 2位…4万円 / 3位…3万円

ど真ん中賞…3万円 / オーバーテイク賞…3万円

～2) ファイナルレース (総額86万円)

	正賞	VITA 倶楽部賞	日本一賞
優勝	トロフィー	30万円+トロフィー	ブービー賞…5万円
2位	トロフィー	15万円+トロフィー	レジェンド日本一賞…4万円
3位	トロフィー	10万円+トロフィー	レディース日本一賞…3万円
4位	トロフィー	6万円	オーバーテイク日本一賞…3万円
5位	トロフィー	4万円	
6位	トロフィー	3万円	
		ど真ん中賞…3万円	

第25条 賞典の制限

予選参加台数が少数の場合は次のように制限される。

2台以下	なし	12～13台	6位
3台	1位	14～15台	7位
4～5台	2位	16～17台	8位
6～7台	3位	18～19台	9位
8～9台	4位	20台以上	10位
10～11台	5位		以上